

令和3年度第7回文化財保護審議会 会議録

- 1 日 時 令和4年2月3日(木) 午後6時～7時30分
- 2 場 所 郷土資料館「けやき館」体験学習室
- 3 出席者 会 長 平山 和治
副会長 塩島 清志
委 員 会田 宏、池谷 功、大久保 伴季、川鍋 悦子、
久保田 吉範、高橋 公江、渡辺 和俊
事務局 町田図書館長、上出文化財担当主査、谷亀図書係主任
北爪副館長
- 4 欠席者 古川 嘉勇
- 5 議 題
 - (1) 瑞穂町登録文化財の登録について(答申)
 - (2) 「文化財だより」の企画について
 - (3) 郷土資料館事業について
 - (4) その他
- 6 傍聴者 なし
- 7 配布資料 次第、資料1～2
- 8 会議内容

開会

会長挨拶

議題(1) 瑞穂町登録文化財の登録について(答申)

事務局 この案件は令和3年10月12日付で登録申請をいただいたもので、同年11月4日に開催された第5回文化財保護審議会にて諮問させていただきました。本日答申をいただきましたので、教育委員会定例会に議案として上程させていただきます。同委員会にて承認された後告示を行い、登録の効力が発生することとなります。

議題(2) 「文化財だより」の企画について

事務局 ※企画内容について説明。

議題(3) 郷土資料館事業について

北爪副館長 ※郷土資料館事業について説明

議題(4) その他

事務局 ・文化庁の補正予算事業として「地域文化財総合活用推進事業」の募集に係る通知が1月下旬にあった。本事業は山車や用具の修理など、地域の伝統芸能伝承のために必要な経済的支援を行うことを目的としています。

- ・殿ヶ谷地区において山車の修理は以前からの懸案事項で、補助申請に向けての機運が高まりつつあります。現在、地元の方に協力をいただきながら応募に向けて準備を進めています。
- ・応募に必要な書類として山車等の修理事業を要望する場合、「自治体の文化財担当者や専門家等の指導を受けた書面」が求められます。以前、「高根の神輿」の修理の際にも「文化財保護審議会からの指導内容」という書類を提出しています。今回も同様に指導内容案を作成しました。内容について、ご意見をいただければと思います。

久保田委員 今回の修理では、「一本柱構造の復元」という、旧来の形へ復元が盛り込まれている。このことについて、山車の専門家に意見を聞いているのか。

- 事務局
- ・修理の際、文化財保護審議会の皆様には「視察」を行うことで修理に立ち会っていただき、状況を確認いただくことになる。
 - ・殿ヶ谷の山車の修理について、これまでも動きはあったものの、進んでいない状況にあった。そのため、今回の補助事業への応募は、ゼロからのスタートではないことをご承知おきいただきたい。
 - ・山車建築に見識をお持ちの相原先生にご助力いただくことも考えている。

久保田委員 専門家に意見をいただくことが不可欠。また、地域の人たちも活用していただきたい。

平山会長 今回の修理は経年劣化を修繕するものであり、大規模に改変するものではないと、認識してよいですか。

事務局 今回は車輪部分だけの修理のような、部分的な修理ではないが、外観が変わってしまうということはない。

平山会長 一本柱構造を復元する、ということですね

久保田委員 かつてあった形に戻すという試みであり、関係者の皆さんが納得できる形にするべき。

平山会長 一本柱構造について、かつての構造は明らかにされているのですか。

久保田委員 拝島に残されている山車などを参照すればよいのではないかと。

平山会長 応募期間が明日に迫っている。殿ヶ谷の方でかなり準備ができていたので、申請できるわけですね。

久保田委員 かつてあった姿に復元することが大事。修理のやりすぎで別のものになってしまうといけない。

事務局 予算の適用範囲が広いと、競争率が高いことが予想され、採択されるかは、3月中に結果が出る見込み。

事務局 図書館のリニューアル完了が間近に迫ってきた。以前と大きく変わった点として図書館3階がなくなり、瑞穂中学校の敷地の方に向かってテラスが作られていること。また、建物内部のバリアフ

リー化など、様々な工夫が凝らされています。設計等に関しては、ワークショップの皆様のご意見をできるだけ反映させていただいた。3月21日に開館式典が行われ、午後からは関係者のみプレオープンということで館内を見ることができるので、是非お越しいただきたい。

川鍋委員

飲み物が購入できるようになっているということだが、書籍が汚れたりしないのか。

事務局

本を借りて持って帰って家で読んでいる時も、コーヒーを片手に本を読んでいる。気を付けていただければ問題ないという判断です。

閉会